

11月の果実の見通し

令和2年10月31日現在
山形県東京事務所

区分 品目	主産地	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		販売見通し
		前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込	5カ年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
りんご類	長野 青森 山形 ほか	7378	100%	7579	315	平年並み	300	1552	21.0%	各産地とも天候被害はほとんどなく、作柄は平年並み、玉伸びも良好。 中生種は10月末から11月上旬にかけて切り上がる。 「サンふじ」は、10月末から山形県産が、11月から岩手県、長野県、青森県産が順次始まる。「サンふじ」の出荷が本格化する11月下旬まではりんご全体でやや不足感があるが、11月全体の出荷量は平年並み、相場も平年並みに安定する見込み。
西洋なし類	山形 新潟 ほか	1150	100%	1157	348	高い～平 年並み	342	1075	93.5%	山形県産「ラ・フランス」の販売は、10月23日から開始している(エチレン品)。肥大状況は良く、16・18玉中心の出荷。 新潟県産「ル・レクチエ」の着果量は前年並みで、10月下旬から収穫開始。販売は例年並みの11月20日過ぎから開始する。
かき類	福岡 奈良 新潟 ほか	6962	105%	6908	266	平年並み	250	593	8.5%	「早生富有柿」は10月中旬から岐阜県産が、下旬から奈良県、福岡県産が始まった。11月には「富有柿」に切り替わる。 たねなし柿は10月下旬から奈良県、新潟県産がピークに入る。11月上旬には和歌山県産が終了予定。愛知県産「次郎柿」は11月からピークに入る。 かき類全体では、例年通り中旬にピークを迎える。
干し柿	山梨 長野 富山	95	95%	115	1897	平年並み	1756	0	0.0%	「あんぼ柿」は10月上旬から山梨県産が始まっており、出荷量は平年より若干少ない。 10月末から富山県産が、11月中下旬から福島県産が始まる。 長野県産「市田柿」の原料は前年並みに確保されており、11月下旬から販売が始まる。
みかん類	愛媛 長崎 熊本 ほか	20826	105%	21024	264	平年並み	268	-	-	10月は長崎県産が台風の影響で数量が少なかったものの、全体では昨年並み、販売価格は1割程度高かった。 10月末から愛媛県宇和島産「早生みかん」(赤箱)が、11月から愛媛県西宇和、熊本県、長崎県産が開始。 全体の数量は前年並みから若干多く、玉流れはM中心、L>Sと前年より若干大きい。 かんきつ類では、宮崎県産きんかんが11月上旬から、愛媛県産「紅まどんな」が11月下旬から始まる。

引用資料:「東京都中央卸売市場における果実の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、果実の入荷・市況見通しについて(東京青果株)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)